

久保田たかし活動最前線

発行：久保田たかし後援会・太田市民懇話会

丙午の躍動 — 新たな挑戦の年へ！

日頃より久保田たかしを支援してくださる皆様には、新たな年を清々しくお迎えしたこととお喜び申し上げます。

今年は干支で「丙午（ひのえうま）」にあたります。火の勢いと馬の力強さを象徴するこの年は、情熱と行動力が試される一年とも言われます。地域課題が続く中、私たちに求められるのは、立ち止まらず果敢に挑戦する姿勢です。丙午の炎は、停滞を打ち破り、新しい道を切り拓く力を与えてくれるでしょう。

太田市の未来を見据え、福祉やスポーツ文化の振興など、地域の誇りを次世代へつなぐために、議会と市民が一体となって進むことが大切です。丙午の年を「変革の契機」と捉え、共に歩む一歩を力強く踏み出しましょう。今年もみんなが笑顔で安心して生活できる環境づくりに取り組んでいきますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

12月定例会

11月28日から12月16日の間で開催された12月定例会では、36議案が審議され、すべての議案が可決されました。

議案の主なものは、期間満了となる放課後児童クラブの指定管理者の指定と行政センターや公民館の貸館使用料に統一性がなかったものを整理し条例改正しました。また、人事院勧告により職員と特別職の期末手当が増額されたことにより一般会計に約3億円の増額補正を行いました。

今年も群馬県教職員組合から提出された「義務教育費国庫負担拡充に係る意見書」の請願が採択され、太田市議会として国に対し意見書を提出することとなりました。



12月定例会一般質問の様子

一般質問の要旨

◆太田市都市計画マスタープランにみる本市の土地利用について

【久保田】太田市都市計画マスタープランでは、本市の土地利用や各施設の整備方針などの長期的なまちづくりの方向性を示している。さらに立地適正化計画では、人口減少や少子高齢化に対応するため、住宅や医療・福祉・商業施設などの都市機能を特定のエリアに集約し、公共交通と連携させることで、持続可能で利便性の高い「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を目指すとしている。しかし、居住誘導区域から外れた地域にも実際に生活している市民が大勢いる。こうした居住誘導区域外のコミュニティを維持していかなくてはならないのは当然であるとともに、都市機能誘導区域と結ぶ交通の整備が不可欠だ。

【市長】人口減少・少子高齢化時代においては効率的なインフラ整備や行政運営のためにも、中心市街地の都市機能誘導区域への医療・福祉・商業などの機能的集約が必要であるとともに、中心市街地だけでなく、地域コミュニティの維持も重要だと考えて

いる。さらに、高齢者をはじめとする住民が日常生活に必要なサービスを身近に受けることができるよう拠点間のアクセスを確保するために公共交通ネットワークの維持充実は必要である。

【久保田】居住誘導区域を設定しながらも市街化調整区域に住宅が建てられる制度がある。相反することを同時に進めているが、大事なのは市民の生活をいかに守るかということ。どこに住んでも同じサービスが受けられる、地域間格差の無い状況を作るには公共交通ネットワークが重要である。

【市長】居住誘導区域外の地域においても都市機能誘導区域に配置される、医療・行政・商業など生活に不可欠な機能へ円滑にアクセスできることが重要だ。今後策定する地域公共交通計画のなかでしっかりと検討を進める。

【久保田】太田強戸SIC下の公有地の利活用については部局横断的なチームを作って良い方法を考えてほしい。

【市長】強戸地区には産業団地の計画があるのでこれも含めて地域活性化の起爆剤としたい。組織を横断して考え、議会や周辺住民との合意形成に努めたい。

《他》スポーツでまちを盛り上げる施策



市長へ新年度予算要望

太田市の令和8年度予算編成にあたり、会派「創政クラブ」として市長に対し7分野30項目にわたる内容の要望書を提出しました。

- ①行政運営の充実として、職員定数の見直しによる適正な人員配置、保健師の適正配置による地域保健体制の強化、職員の研修体制の充実とキャリア形成支援。消防職員による研修参加費等の公費負担の拡充など。
- ②教育・子育て支援として、学校給食による安全で安心できる食材の確保と地産地消の推進、不妊治療における「はじめの一步 応援給付金」の創設による不妊治療開始支援、妊娠から出産までの不安解消に向けた取り組み強化、産後における母子の健康管理への対応強化など。
- ③健康・福祉の増進として、がん患者支援、健康寿命の延伸策や認知症予防事業の充実など。
- ④環境・インフラ整備として、合併浄化槽設置補助金の増額による転換促進、公共下水道普及促進、リチウムイオン電池関連の安全な廃棄方法の確立、公園管理体制の見直し、ウォークアブルなまちづくりの推進など。
- ⑤地域文化・観光振興として、民間主催のイベントに対する補助制度の創設、サンダーズアベニュー

新設による賑わいの創出など。

⑥農業・産業振興と経済対策として、大型農業機械導入支援事業の継続、有害鳥獣対策の強化とイネカメムシ防除に対する補助制度の創設、中小企業及び小規模事業者支援、プレミアム付きOTACO発行による市内経済活性化など。

⑦スポーツ・交流促進として、スポーツ広場やグラウンド及び競技場の充実整備、おたスポーツ学校の充実強化など。

市長からは「大変重要な内容であり、行政として市民のための施策を進めていきたい」という回答がありました。



GALLERY ～2025年の出来事から～



佐藤ひさよし3期目



平戸航太 初陣を飾る



国民民主党全国キャラバン



電機群馬定期大会

ガソリン暫定税率が廃止されました。所得税の非課税ラインが178万円まで引き上げられ、働き控えの解消につながる事が期待されます。自民一強から多党制になり、与党と野党の境目があいまいになりました。与野党対立の構図から各政党の政策を実現するための取り組みが重要になります。これまでの「とにかく反対!」「党の政策は実現しないのが当たり前」という野党では国民から見放されてしまうでしょう。

これからも「提案・改革・解決力」をモットーに市民が笑顔になれる政策と皆さんの困りごとを解決できる議員であるための努力を続けます。今年も皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

ご意見・ご感想をお寄せください。相談こともご遠慮なく下記までどうぞ。

久保田たかし後援会事務所

住所：大泉町坂田1-1-1
TEL：0276-61-9926
FAX：0276-61-8993

人口減少と丙午の迷信

昭和41年の合計特殊出生率は1.58。出生数は136万1千人で前年より約50万人も減少しました。これは江戸時代の八百屋お七の逸話から「丙午に生まれた女性は気性が荒く、夫の寿命を縮める」といった迷信が広まったためでした。この迷信は長く残り、この迷信を当時のメディアが過剰に報道したために、世間に強く印象付けられたことよって、昭和41年の丙午では生み控えが広まり、出生数が大幅に減少したといわれています。私の2学年下の世代がこの年に当たりますが、こういう話を聞いて、人口が少なく、いわば競争が無くて逆に羨ましく思ったことを記憶しています。

現在は迷信を信じる人はごく少なくなっていると思いますがゼロではないようです。人口減少・出生率の低下が進むなかで「丙午の迷信」がどれだけ影響するかわかりませんが、政治の力で歯止めをかけたところではあります。

そのためには子育て環境の改善と、働く世代の将来不安を解消することが大切です。国による取り組みが重要ですが、太田市でできることをやっつけていかなければなりません。

